

# かけはし

園校長 高田 大  
幼稚園研究主任 森山 寛子  
小学校研究主任 鈴木 美和

## 「先生たちも勉強するの!？」

「今日は研究授業で、先生たちの勉強会がある日だから、4時間で下校するよ」と話した際に、1年生の子どもたちがとても驚いていました。「もちろん、先生たちも一生懸命お勉強しているのよ。」と答えると、なんだか神妙な顔をしていました。かわいいですね。

5月25日(水)、第七峡田小学校の4年1組を対象に、理科の研究授業が行われました。

普段の授業は、主に学級担任や教科担当の教員が授業の準備を行います。それに対して研究授業は、沢山の職員が集まって授業の内容や方法について検討します。当日の子どもたちの様子を職員全員で参観し、授業後に協議会を行ったり、外部からお招きした講師の先生からご指導をいただいたりもします。

今回の講師は、第七峡田小学校前校長であり町屋幼稚園前園長・小林輝明先生です。現在は敬愛大学教育学部 子ども教育学科で准教授を務めておられます。理科のエキスパートの小林先生は、小学校の全校朝会でよく理科のミニ実験を見せてくださいました。本号では、中学年の研究授業の様子をお伝えします。

## 「なぜ? (疑問)」から「そうか! (納得)」へ

理科「電池のはたらき」 4年1組 近藤実乃里 主任教諭

電流の働きについて、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を立てて、問題を解決しようとすることをねらいとした学習です。

小林輝明先生によると、理科は「なぜ? (疑問)」からはじまり、「そうか! (納得)」で終わる学びを目指すといふこと。今回は、3年生までの学習や遊びを思い出し、調べるべき学習課題を子どもたち自身の言葉から作り出しました。

### 幼児期から小学校3年生までの経験の例



小学生が動力を利用して作った手作りおもちゃで一緒に遊んだよ。(町屋幼・5歳児)



グループに分かれて、クイズ遊びで伝え合いをしたよ。(七峡小・1年生)



動力を利用した手作りおもちゃに試行錯誤。早く遊びたい!(七峡小・2年生)



手作りおもちゃのしくみを思い出しながら、ゴムの働きの学習。(七峡小・3年生)

研究授業の様子。経験を想起させたり、自由試行の時間を十分確保したりすることを大切にしました。

### 導入～おぼえているかな！？～

赤をプラス、青  
をマイナス…

「極」  
だ！

どっちでもつくよ！



乾電池を使って豆電球に明かりを  
つけます。どのようにしたらよい  
ですか？

懐中電灯のおもちゃ、  
作ったなあ。

輪にして「回路」  
を作ればいい。

### 展開～送風機を動かしてみよう～

動かない  
なあ。



導線が引っかかっているよ。

動いた！やった！



あれ？風の向きが…

先生！聞いて！  
導線のつなぎ方を変えたら風  
の向きが変わったよ！



大発見だね。ノートに書いて、  
あとでみんなに知らせ  
てあげよう。

### まとめ～気付いたことの伝え合いから～

導線のつなぎ方を変え  
てみたら風の向きが…



僕は乾電池をひっくり  
返してみたんだけど…

では、次回「調べてみたいな」ということはあるかな？

授業者 近藤 実乃里より

一人一台送風機を持ち、自由に試すことができる時間を多くとりました。互いに気付いたことを共有し、調べてみたいことから問題づくりを行うことで、子どもたちが主体的に実験に取り組むことができました。

幼保小接続推進専門員 仲田 恵より

様々な体験の中で「どうして」「なぜ」と不思議に思う気持ちと、「試してみようか」と共感する友達や大人の存在がとても大切です。学校や家庭で一緒に不思議を楽しむことが意欲につながっていくと思います。